

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公開番号】特開2004-231567(P2004-231567A)

【公開日】平成16年8月19日(2004.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-032

【出願番号】特願2003-21811(P2003-21811)

【国際特許分類】

|         |        |           |
|---------|--------|-----------|
| A 6 1 K | 47/32  | (2006.01) |
| A 6 1 F | 7/10   | (2006.01) |
| A 6 1 F | 13/00  | (2006.01) |
| A 6 1 K | 8/72   | (2006.01) |
| A 6 1 K | 8/96   | (2006.01) |
| A 6 1 K | 8/02   | (2006.01) |
| A 6 1 K | 8/00   | (2006.01) |
| A 6 1 Q | 19/00  | (2006.01) |
| A 6 1 K | 9/70   | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/045 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 47/02  | (2006.01) |
| A 6 1 K | 47/38  | (2006.01) |
| A 6 1 J | 1/00   | (2006.01) |

【F I】

|         |        |         |
|---------|--------|---------|
| A 6 1 K | 47/32  |         |
| A 6 1 F | 7/10   | 3 1 1 A |
| A 6 1 F | 13/00  | 3 0 1 G |
| A 6 1 K | 7/00   | J       |
| A 6 1 K | 7/00   | K       |
| A 6 1 K | 7/00   | L       |
| A 6 1 K | 7/00   | R       |
| A 6 1 K | 7/00   | U       |
| A 6 1 K | 7/00   | W       |
| A 6 1 K | 7/48   |         |
| A 6 1 K | 9/70   | 4 0 5   |
| A 6 1 K | 31/045 |         |
| A 6 1 K | 47/02  |         |
| A 6 1 K | 47/38  |         |
| A 6 1 J | 1/00   | 3 7 0 C |

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月26日(2005.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 片面が架橋剤含有溶液で非粘着化処理されたシート状の含水ゲル体である貼付剤であって、該含水ゲルが、

(A) ポリアクリル酸及び／又はその塩、

(B) カルボキシメチルセルロース及び／又はその塩

(C) 架橋剤

を含有する組成物であることを特徴とする、貼付剤。

【請求項2】 (B) カルボキシメチルセルロース及び／又はその塩の含有量が0.5～1.0質量%であることを特徴とする、請求項1に記載の貼付剤。

【請求項3】 (C) 架橋剤が水難溶性多価金属塩であり、非粘着化処理用の架橋剤が水溶性多価金属塩であることを特徴とする、請求項1または2に記載の貼付剤。

【請求項4】 熱冷却シート、顔用パック剤、フットケアシート剤、または外用消炎鎮痛薬であることを特徴とする、請求項1～3のいずれかに記載の貼付剤。

【請求項5】 (A) ポリアクリル酸及び／又はその塩、(B) カルボキシメチルセルロース及び／又はその塩、(C) 架橋剤、及び水を含有する含水組成物を均一混練した後、剥離用フェイシングフィルム上にシート状に塗工し、塗工後30分以内に架橋剤含有溶液をゲル表面に接触させ、その後5分以内に型押し及び／または裁断を行うことを特徴とする、請求項1～4のいずれかに記載の貼付剤の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

即ち、本発明の第1の態様は、片面が架橋剤含有溶液で非粘着化処理されたシート状の含水ゲル体である貼付剤であって、該含水ゲルが、

(A) ポリアクリル酸及び／又はその塩、

(B) カルボキシメチルセルロース及び／又はその塩

(C) 架橋剤

を含有する組成物であることを特徴とする、貼付剤である。

前記貼付剤においては、(B) カルボキシメチルセルロース及び／又はその塩の含有量が0.5～1.0質量%であることが好ましい。

また、(C) 架橋剤が水難溶性多価金属塩であり、非粘着化処理用の架橋剤が水溶性多価金属塩であることが好ましい。

また、本発明の貼付剤は、熱冷却シート、顔用パック剤、フットケアシート剤、または外用消炎鎮痛薬であることが好ましい。

本発明の第2の態様は、(A) ポリアクリル酸及び／又はその塩、(B) カルボキシメチルセルロース及び／又はその塩、(C) 架橋剤、及び水を含有する含水組成物を均一混練した後、剥離用フェイシングフィルム上にシート状に塗工し、塗工後30分以内に架橋剤含有溶液をゲル表面に接触させ、その後5分以内に型押し及び／または裁断を行うことを特徴とする、本発明の貼付剤の製造方法である。